

CSEPELI HÉV (H7)

Oláh Szilveszter

これからチェペルの HÉV(へーブ)と HÉV の七不思議を紹介します。HÉV とはハンガリーの首都、ブダペストの交通機関の一つで、色が緑、走るのは速い？あんまり速くない普通の速さの通勤列車です。終点から終点まで 13 分ぐらいかかります。Csepel (チェペル)、Karácson Sándor utca (カラーチョニュシャーンドル通り)、Szent Imre tér (セントイムレ広場)、Szabadkikötő (サバド港)、Közvágóhíd (コズヴァーゴ橋)、と Boráros tér (ボラーロシュ広場) の六つの停留所で止まります。電車は冬には自然冷房、夏は自然暖房の無料提供をしています。(たまに夏に冷房車も走っています。たまにですけど。)



HÉV の七不思議

七不思議その 1 : HÉVi kukajáték (へーブのゴミ箱ゲーム) というゲームがあったという伝説があります。大昔、HÉV の車内の壁にいくつものゴミ箱がありました。HÉV に乗ら、そのうちの 1 つを開けるとというのがゲームです。もしゴミ箱を開けて、中に半分食ったチョコとか、コーラの缶とかがあったら「勝ち」だそうです。残念ながら、車内にはもうのゴミ箱がなく、ゲームは伝説になりました。

七不思議その2：夜になると電車が Szabadkikötő に止まりません。もしかすると、駅にお化けが出るからかもしれません。

七不思議その3：遅くなると車内にお化けが出るという噂があります。まあ本当は、歌う酔っ払いなんですけど。でも、注意しないと、あなたも「お化け」の仲間になってしまうかもしれません。

七不思議その4：エスパー運転手。この運転手は、あなたがいつ駅に着くかわかっていて、あなたが乗ろうとする直前に電車を発車させます。エスパー運転手にはいつもイライラさせられます。

七不思議その5：エネルギーゾーン。これは多くの人が報告していますが、普段歩くこともあまりできないおばあさんとおじいさんが、HÉVの出発時が近づき、このエネルギーゾーンに入ると、音速も超えるスピードで走れるようになります。

七不思議その6：磁力を持つる若者。例えほとんどの席が空いていても、おばあさんとおじいさんはなぜか若い人のとなりに座ります。(お年寄りも、さびしいかもしれません。話しかけるときっと喜んでくれます。日本語でもOKかもしれません。)

七不思議その7：エスパー検札係。検察係の人達がいつどこからHÉVに乗ってくるか見えません。テレポートしているか、変装して乗ってくるに違いありません。切符や定期券は必ず買ってください。ない場合は・・・逃げてください。